

竜頭山

2013年1月19日(土)

福島

早朝、舞阪を出発、途中の道路は凍結も無く順調、駐車スペースには既に2台の車がいった。
7:50 平和口から登り始める、天候は快晴だが登山道は日影で日差しには恵まれず。

昨年秋に登った時には登山道の鋼製の橋が無残にも崩れたままであったが今日は綺麗に架け替わっていた。
途中にある杉小屋（そまごや：林業関係者が休憩に使う小屋？）あたりで登山道に雪から変わった氷が目立つようになった、
ここから登山道はどんどん白くなりアイゼン無しでは登るのが困難になる。

アイゼンを装着しようとしてザックを降ろすが足場が悪く装着出来ず、再度ザックを背負い少し進むと平坦な場所があり6本爪の軽アイゼンを装着できた。

この後、後ろから来た2名に追い越される、1名は軽アイゼンを装着していたが他の1名はアイゼン無しでペース良く登って行ってしまった。

尾根に乗ってからは登山道の斜度がきつ軽アイゼンでは歩き難いと感じた。
東屋の手前までは雪は締まっていたが東屋回りでは雪が柔らかくスパツ無しでは靴の中に雪が入るようになった。
東屋でスパツを装着して避難小屋まで進む、途中の中継アンテナ施設回りでは積雪が20cm～30cm程度、手袋は薄手のニットの
手袋だけであったが指先が凍傷になるのではと思えるくらい冷たく感じた。

避難小屋には12時頃に到着した、中では5名程度が昼食中であった。

13時には昼食を終え、アイゼン無しで出発、この時はオーバーミトンをしっかり着けて沢治いを下山。
沢の右側にトレースがあり、無雪期には岩の上を歩いたが今回の方が歩き易いように思えた。15時には下山できた。

最近の山行レポートで竜頭山に雪は無いと聞いていて安心していったが実際は行程の半分位で積雪があり、
アイゼン装着のタイミングを誤り安全とは言えない場所で装着しようとして出来なかったり学ぶ所が多かった山行であった、
積雪のある山に単独で登った最初の経験であった。



杉小屋



東屋



山頂付近

以上